

課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業（実社会対応プログラム）  
公募型研究テーマ 研究概要

課題（研究領域）

制度、文化、公共心と経済社会の相互連関

研究テーマ名

日本の昆布文化と道内生産地の経済社会の相互連関に関する研究

責任機関

学校法人名古屋石田学園 星城大学

研究実施期間

平成27年10月～平成30年9月

研究プロジェクトチームの体制

氏名	所属機関・部局・職名
<b>研究代表者</b> 齋藤 貴之	星城大学・リハビリテーション学部・講師
<b>分担者</b> 西谷 榮治	利尻町博物館・前学芸員
岡庭 義行	帯広大谷短期大学・総合文化学科・教授／副学長
遊佐 順和	札幌国際大学短期大学部・総合生活キャリア学科・講師
会田 理人	北海道博物館・学芸員
<u>小野寺 聡</u>	新ひだか町博物館・学芸員
<u>車塚 洋</u>	厚岸町海事記念館・学芸員
<u>大矢 京右</u>	市立函館博物館・学芸員

※実務者は氏名に二重下線

配分（予定）額

（単位：円）

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
3,200,000	2,750,000	2,500,000	2,620,000

※平成28年度・平成29年度・平成30年度については予定額

## 研究目的の概要

本研究の目的は、日本の昆布文化と道内生産地の経済社会の相互関連に着目し、一方で道産昆布が生産地の文化および日本の伝統文化を支え、他方でその事実に対する評価および自負が生産地の経済社会の精神的支柱となる、という相互関連の存在を明らかにすることである。また研究成果と地域博物館を利活用した教育プログラムの開発と博物館発の超自治体型教育政策の実現を図る。

## 研究計画の概要

本研究は、上記の目的の達成を図るため、道内および日本海沿岸地域を調査対象とし、食および食以外の両面から全国規模で現地調査を実施し、日本の昆布文化と道内生産地の経済社会の関係性の解明を図る。またその成果に基づき、地域博物館を舞台とした体験型郷土教育プログラムの開発と、超自治体的共同教育システムの構築を視野に入れた新たな教育政策の検討、提案を目指す。